

支部だより

日本機械学会 関西支部便り2016

関西支部長から関西支部の活動のご紹介

第92期関西支部長 北村 隆行 (京都大学)

産業構造や社会構造の変化を受けて、日本における老舗学会の多くが冬の時代を迎えています。一方、関西支部は、先進的で質の高い活動を続けてきており、各界の注目を集めてきたのはご承知の通りです。これは、長年の支部会員の創意工夫と不断の努力の賜物ですが、もう一步踏み込んでその理由を考えてみますと、先輩諸氏の“mobility”が背景にあることに気づきます。アメリカンフットボールのプロ達の言葉の中に“3歩のモビリティ”というものがあるのを聞いたことがあります。プロ選手はいずれも全米を代表するスポーツ万能なのですが、切迫した状況になると足が動かなくなってしまうそうです。そのときに3歩動けるかどうか(mobility)が、一流と二流を分けるとのことです。さて、忙しい日々の中で、学会活動で良いことを考えついても、なかなか実行に移すことができないのが現実です。関西支部の諸先輩には“3歩のmobility”を持った一流がおられたことが、今の活発さ

に繋がっていることを実感している次第です。また、そのmobilityを支えるものは、好奇心です。好奇心は、元来、技術や学術(工学)の推進力であり、活力源そのものです。関西支部が他から羨まれるメカボケーション事業、シニア会、講習会、講演会、見学会、交流フォーラムなどの支部活動の創意工夫は、技術者や開発研究者の技術・工学に関する好奇心を刺激する内容であることが、優れた活動と評価された根幹でしょう。昨年は、特別フォーラム(知財・標準化の国際戦略について)やステップアップセミナー(オープン・イノベーションが切り拓く新たな事業創造)において技術者の関心が高いテーマで開催し、関西のみならず全国から企業の方々の参加を得た企画が続きました。関西の伝統である溢れる知的好奇心(文化)とmobility(意欲)が、日本の元気にもっとも必要なものであることを示しています。これらの事業を今期も推進し、さらなる支部活動の活性化に努めてまいります。

関西学生会

関西学生会は関西地区の24の大学・高専の学生員で構成され、各校を代表する運営委員50名余を中心に活動しています。その活動は、毎年11月の「メカライフの世界」展と3月の卒業研究発表会という二大イベントの他に、工場見学会やシニア会との交流会などがあります。これらのイベントの企画運営を年8回程度開く運営委員会で議論し、学生が主体で活動しています。昨年も11月14日(土)・15日(日)の2日間、バンドー神戸青少年科学館において、小中学生を対象に機械のしくみやモノづくりの楽しさを体験してもらい、「メカライフの世界」展が開催されました。ペットボトルや割り箸等の身近なものを使った有料・無料の工作メニューを多数用意し、学生委員のサポートの下、参加した子供たちに工作をしてもらいました。また、各大学から様々な機械工学に関する展示を

行ってもらいました。それらの中にはクレーンゲームやホバークラフト等、実際に来場者の方に体験していただくものもあり、来場者の方も楽しんで参加されていたようでした。来場者数はのべ1227名と大盛況で、来場者アンケートでは、来場者の96%の方に「とても楽しかった」あるいは「楽しかった」と答えていただきました。今年度も、昨年に負けない企画を学生諸君が鋭意準備中です。関西学生会の活動について詳しくは、関西支部HP内の関西学生会のページをご覧ください。



技術情報誌 MECHAVOCATION 2016

MECHAVOCATIONは「機械技術者の天職」という意味の事業で、1993年度より展開し、関西に拠点を置く産業界と学界の交流の場を種々提供して参りました。

MECHAVOCATION2016はその核となる技術情報誌で、主として①関西支部賞受賞技術紹介、②協賛いただいた企業の紹介、③関西地域の大学・短大・高専の学校紹介から構成されており、日頃企業を知る機会の少ない学生

にとって将来の進路選択の媒体として有用な手段となっています。毎年、関西地区の機械系学生約6500名、全国160校の就職担当教職員および協賛企業に配布する一方、インターネット版を公開し、支部と学校、企業を結ぶ情報媒体として広く活用いただいています。就職事情の厳しさが問題となっている現在、学生と企業の間を取りもつ社会貢献の役割を果たしています。

学生のための企業技術発表会

MECHAVOCATION刊行に付随する事業として、2015年12月12日(土)に関西大学千里山キャンパスで「学生のための企業技術発表会」を開催しました。今回で13回目を迎えるこの発表会は、企業が機械系の学生参加者に各社の独自技術を紹介するユニークな企画で、今回は技術情報誌2016協賛企業の中から72社(152名)と、参加校18校399名(教員16名、学生383名)の計551名が出席しました。前半は企業のショートプレゼンテーション、後半はブースにて個別説明が行われました。夕方には関西大学

の凜風館で懇親会が開催され、学生、大学・高専および企業からの参加者が交流し、学生参加者は日頃学んでいる機械工学が実際に企業でどのように役立っているのかを知ることができました。2016年度の「学生のための企業技術発表会」は11月26日(土)に近畿大学で開催が予定されています。



第91期定時総会・講演会・**2015年度関西学生会学生員卒業研究発表講演会**

関西支部最大の行事である定時総会・講演会・関西学生会学生員卒業研究発表講演会が2016年3月10～12日に大阪電気通信大学（寝屋川市）で開催されました。第91期目の定時総会・講演会では471名の参加のもと、基調講演3件のほか、研究討論セッション56件、修士研究発表セッション128件、メカボケーション学生研究発表セッション80件、および関西支部賞受賞記念講演4件を含む計271件の講演発表と、トヨタ自動車（株）内藤貴志氏による「トヨタにおける自動運転技術への取り組み」、大阪電気通信大学 森本正治氏による「磁気粘性流体ブレーキ組込高機能下肢装具の開発および実用化に必要な構造強度・機能計測試験法の国際標準化」の特別講演がありました。定時総会では定例の議案審議の後、関西支部賞9件、支部長特別表彰1件、学生員増強功労者10校の表彰が行われました。また、関西学生会卒業研究発表講演会では、今回700名の参加者があり、新日鐵住金（株）中居拓自氏による「鉄道車両用台車の技術開発」の特別講演が行われたほか、学生員による403件の講演発表が行われ、活発な講演会となりました。また、懇親会では支部長から Best Presentation Awards が40名の学生員に贈呈されました。さらに、3月9日には定時総会見学会が（株）クボタ枚方製造所で催され、大型ポンプ製品の生産設備などの貴重なモノづくりの現場を見学させていただきました。

組織と活動の概要

関西支部は、定時総会講演会のほか、産官学の研究者が集う9つの懇話会の企画による秋季技術交流フォーラムや、商議員・代表会員が専門分野ごとに所属する5つの専門部会の協力の下に講習会を年6回開催しています。また、学生員が主体的に運営している関西学生会や、経験・知識で社会貢献等に取り組むシニア会が活発に活動すると同時に、幹事会を毎月開催し、年3回の商議員会と定時総会で意見交換しながら、支部運営を進めています。

第92期 2016年度主要行事（予定）

'16.04	第1回商議員会・専門部会
'16.05	第343回講習会
'16.07	第344回講習会
'16.08	「機械の日・機械週間」記念行事
'16.09	第2回商議員会・専門部会 特別フォーラム 第644回見学会
'16.10	第345回講習会
'16.11	第17回秋季技術交流フォーラム [龍谷大学] 第346回講習会 ステップアップ・セミナー2016 関西学生会「メカライフの世界」展 MECHAVOCATION2017「学生のための企業技術発表会」
'16.12	第347回講習会
'17.01	第348回講習会
'17.02	旧新商議員会・専門部会 就職に関する企業と学校の交流会 関西学生会卒業研究発表講演会[大阪大学工学部]
'17.03	第92期定時総会・講演会 [大阪大学工学部] 第92期定時総会見学会